# 今年は、うし年。どんな年。

## 今年は、こんな年にしてみたい。4人の牛飼い人に今年の抱負や想いを聞いてみました。

薩摩中央高等学校　生物生産科２年
内山千恵子（うちやま　ちえこ）さん　17歳（永野出身）

私は、薩摩中央高等学校に通う生物生産科の2年生です。生物生産科の中でも畜産班に所属しています。

学校では、牛以外にも鶏や豚といった畜産物の生体や生育などについて勉強をしています。また、実習では、畜産班９人で、学校で飼養している牛の一般管理の実習をしています。牛は体が大きく、自分の思いどおりには動いてくれませんので、なかなか難しいです。今年は、昨年よりもしっかりと牛と触れあうことができるようにがんばりたいです。

生物生産科畜産班のみんなで、いい種雄牛を交配して生まれた子牛を大切に育て、せり市で高値が付いたときは本当にうれしいです。外国にも色々な品種の牛がいますが、鹿児島県は黒のイメージがあり、黒毛和牛の方が本当においしいと思います。より多くの人に黒毛和牛のおいしさを知ってもらいたいです。

全国レベルの種雄牛や子牛が育つさつま町で、畜産の勉強ができることをうれしく思います。

農業大学校への進学希望もありますので、今年一年、もっといろんなことを学びたいです。

将来は、自分が学校で学んだことを生かして、牛に触れあえる畜産業に携わってみたいです。

野元浩幸（のもと　ひろゆき）さん　47歳　神子在住

今年は私も年男です。年回りもいいので，明るい展望をもって親牛の更新をしながら，少しずつ増頭していきたいと思っています。２２年には牛舎を建設する計画もありますので，今年は準備の年になればいいなと思います。昨年は，飼料高に加え，枝肉単価が下がった影響で子牛価格も下がり，厳しい年になりました。あと２～３年は景気が伸び悩むのではないかと不安もありますが，自給飼料で生産コストを抑えながら，肥育農家に好まれる子牛生産に努めたいと思います。

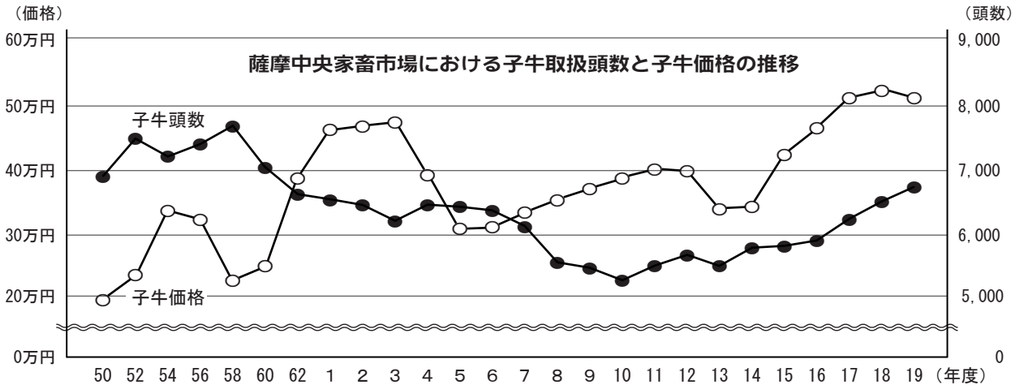
山口治幸（やまぐち　はるゆき）さん　40歳　求名在住

私は，昨年の８月まで約８年間，農協の肥育センターに勤め，色々なことを勉強させていただきました。現在は，自宅で畜産業に取り組んでいます。昨年は，牛肉の消費が伸びず，子牛価格が下がり厳しい年でしたが，幸いに，さつま町は，徳重さんや馬場さんが飼養する種雄牛の知名度が高いので，全国の市場子牛価格に比べるとよかったのではないかと思います。今年は，自給飼料で生産コストを抑えながら，受胎率の向上を図り，お客さんが喜ぶ良い牛の生産を目指してがんばりたいです。

下田保幸（しもた　やすゆき）さん　42歳　時吉在住

長年の希望であった牛舎を建設する予定で，１００頭規模にもっていくための基礎づくりの年になりそうです。昨年の５月頃までは子牛価格も高値で安定していましたが，後半は飼料高に加え，子牛価格も安くなり厳しくなりました。今年は特に厳しい年になりそうですが，さつまの牛は全国に比べるとまだ価格が良い方ですので，１頭１頭を大切にしながら，確実に良い牛を作り上げていきたいです。そして，もう一度，これまでしたことを振り返る年にしたいです。






（単位：頭，円）

| 年度 | | | S54 | S58 | S62 | H3 | H5 | H10 | H13 | H15 | H18 | H19 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 子牛 | 頭数 | | 7,126 | 7,680 | 6,636 | 6,189 | 6,426 | 5,244 | 5,589 | 5,855 | 6,417 | 6,722 |
| | 価格 | ♀ | 359,337 | 208,243 | 352,147 | 428,454 | 262,484 | 364,282 | 332,774 | 396,588 | 495,702 | 484,089 |
| | | ♂ | 318,472 | 233,447 | 411,011 | 529,466 | 340,962 | 418,702 | 375,444 | 449,482 | 551,979 | 544,938 |
| | 平均 | | 338,548 | 221,298 | 381,845 | 479,393 | 303,434 | 392,598 | 354,581 | 423,851 | 524,687 | 515,230 |

さつま町船木にある薩摩中央家畜市場では，年間に８回の子牛せり市が実施されています。せり市には，町内の優れた種雄牛の子牛が集うとして，全国から多くの購買者が訪れます。薩摩中央家畜市場は，２００５年に子牛市場平均価格が全国１位となった実績を持ちます。近年では，飼料高や枝肉相場の低迷で全国的に子牛価格が冷え込む市場が多い中，２００６年は全国ランク第２位，２００７年は第５位と全国でもトップクラスの高値子牛価格を有する市場となっています。全国トップクラスの薩摩中央家畜市場は，町内の優れた種雄牛とその子牛を生産管理する多くの生産者の努力によって支えられています。

## 名牛 平茂勝（ひらしげかつ）

## 優れた功績と子牛を残した 全国に誇る さつまの名牛

畜産業界発展に多大な功績を残したとして建立された平茂勝号顕彰像（薩摩中央家畜市場）

平茂勝号は、旧宮之城町の長谷義信氏所有の母牛「ふくみ号」と父「第20平茂号」との間に第９子として、平成2年7月5日に誕生しました。

種雄牛としての風格と抜群の産肉能力を備え、平成4年の第6回全国和牛能力共進会で、農林水産大臣賞を受賞し、平成9年にはその子牛が兼備賞を受賞しました。

これを機に、平茂勝号は優れた種雄牛であるとして全国から脚光を浴びました。

平茂勝号の子牛は、全国の農家や購買者から注目され、子牛価格の向上や鹿児島黒牛の銘柄確立に目覚ましい功績を残し、地域経済に大きく貢献しました。子牛は全国で雄雌合わせて約31万頭、種雄牛や母牛となった子牛は約11万頭に上ります。

平茂勝号は、平成20年10月15日、18歳3ヶ月（人間の90歳に相当）で老衰のため亡くなりましたが、その名を全国に轟かせた徳重和牛人工授精所には、平茂勝号の優れた遺伝的能力を受け継ぐ「勝忠平号」や「百合茂号」をはじめとする後継牛が育ち、その子牛はまた、全国の市場で高い評価を受けています。